

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表		データグラフ	
	内容	項目数		平均
	「乳児保育」	15		3.93
	「3歳未満児保育」	26		4.00
	「3歳以上児保育」	53		3.81
	「教育保育の配慮事項」	16		4.13
	「健康・安全」	29		4.45
	「子育ての支援」	18		3.50
	「職員の資質向上」	8		3.88
計	165	3.96		
総合 評価	一人ひとりの思いや発達に寄り添いながら安心して過ごせる環境づくりに努めてきた。様々な活動や友だちとの関わりを通して自分で考えて行動する力や興味・探求心、豊かな感性を育むことにつながった。また保護者との連携を大切にしながら子供の成長を共有し、安心して子育てができるよう支援を行ってきた。安全管理、職員についても研修にも取り組み、保育の質向上と専門性向上につなげることができた。			

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
虐待を発生させない体制づくり	虐待を発生させないことを目的にチェックリストの活用等、職員が自己の支援について振り返る機会の提供 ・子どもの人権擁護のセルフチェックリストを活用し、園内研修を実施していく 【年間2回（前期1回 後期1回）】
保護者等のニーズの把握・理解	保護者や家族の声を聞き満足度を把握し、職員参加の下、保育・介護・障害福祉サービス改善の取り組みを推進 ・日々のコミュニケーションを図る中で保護者の思いや意見に耳を傾け、保護者参加時にアンケートの実施をしていく 【年間3回（前期1回 後期2回）】
学校との相互理解	学校行事への参加や、園（施設）行事・自己評価事業への招待等、“顔と顔の見える関係（世間話ができる関係）づくり”に努め、相互理解を図る ・松帆小学校と年間通して交流機会を設けることで、子ども・職員間の連携を図り信頼関係を深める 【年間8回（前期4回 後期4回）】